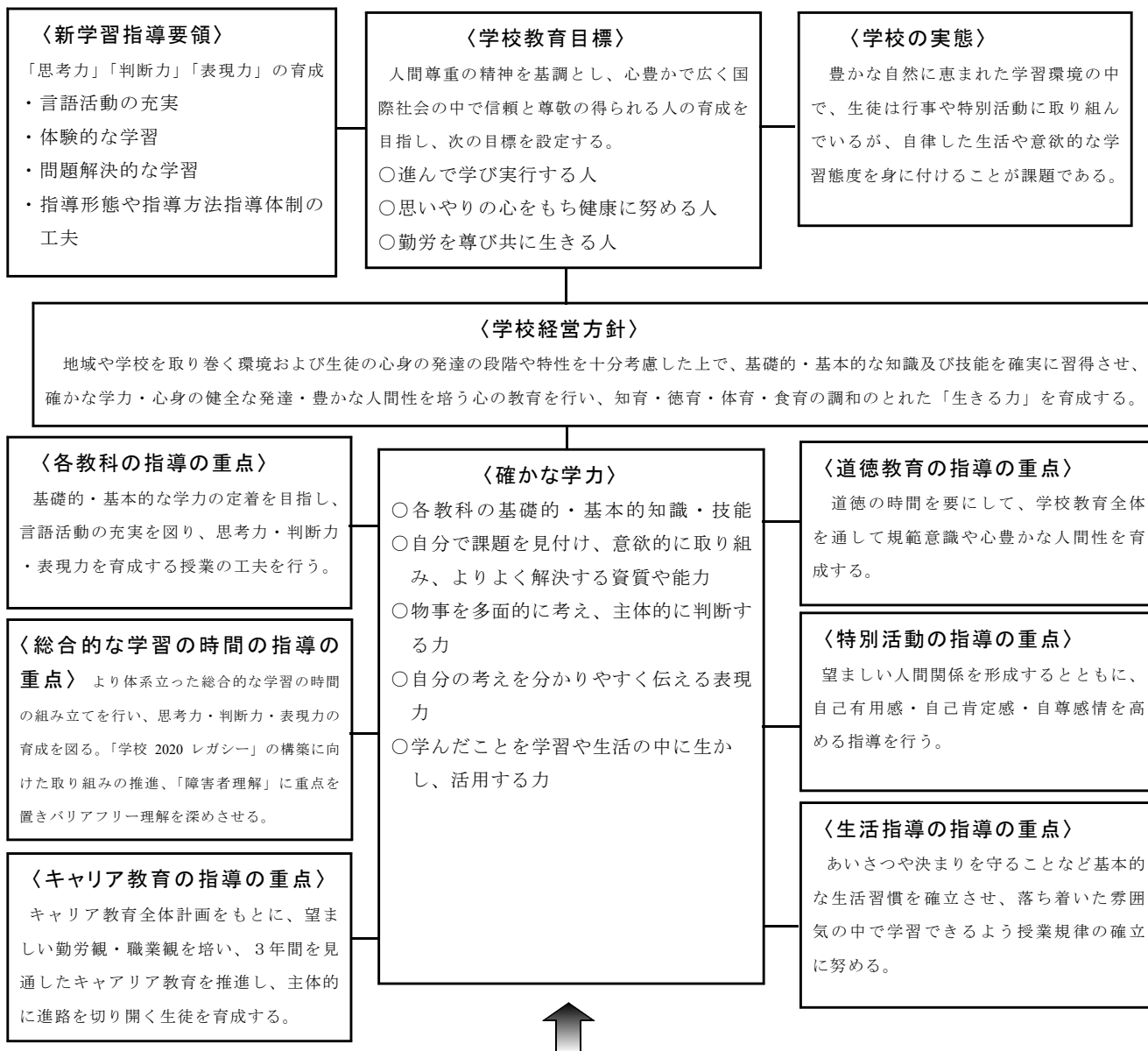


令和5年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
①各教科における言語活動の充実	①授業時数の確保	①学習活動等における特別支援教育の考え方を踏まえた「誰もがわかったと言える授業」の工夫	①観点別学習状況把握のための資料収集	①学校公開や行事を通じた保護者・地域との連携の強化	①数学ボランティア授業の実施(リトリーダー)
② ICT 機器によるデジタルコンテンツの活用	②数学科における習熟度別授業の実施	②上記①の視点を取り入れた研究授業の実施と協議	②評価方法・評価資料と基準値の集約	②学校関係者評価に基づく教育活動の改善	②八坂小学校・豊漢小学校による中学校訪問の実施
③学力調査の結果等を踏まえた授業改善推進プランの実施	③英語科における学力向上支援講師やALTとのTT授業の実施	③教育課題に沿った講演会の実施	③定期考査・学力調査の分析	③地域の人材を活用した食育の推進	③校区別協議会における教科別分科会の開催。学習面の情報交換と課題把握
④体験的な学習や問題解決的な学習の重視	④朝読書活動の徹底		④観点別学習状況の評価分析	④地域行事やボランティア活動への参加推進	④課題改善カリキュラムの実施
⑤放課後や夏季休業中における学力補充教室の実施	⑤体力向上の取組と食育指導の充実		⑤資料に基づいた学習実態の把握		
			⑥評価活動の見直し		